

衆議院財務金融委員会ニュース

【第204回国会】令和3年3月2日（火）、第8回の委員会が開かれました。

1 所得税法等の一部を改正する法律案（内閣提出第7号）

- ・菅内閣総理大臣、麻生財務大臣兼金融担当大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・日吉雄太君（立民）、清水忠史君（共産）、青山雅幸君（維新）、前原誠司君（国民）が討論を行いました。
- ・採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成－自民、公明、維新、田野瀬太道君（無） 反対－立民、共産、国民）
- ・神田憲次君外4名（自民、立民、公明、維新、国民）から提出された附帯決議案について、日吉雄太君（立民）から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもってこれを付することに決しました。
（賛成－自民、立民、公明、共産、維新、国民、田野瀬太道君（無）
（質疑者）末松義規君（立民）、海江田万里君（立民）、階猛君（立民）、清水忠史君（共産）、青山雅幸君（維新）、前原誠司君（国民）

（質疑者及び主な質疑事項）

末松義規君（立民）

- （1） 最低賃金を引き上げるため、司令塔となる組織の創設や国費投入の検討を求める意見に対する菅内閣総理大臣の見解
- （2） 近畿財務局の職員であった赤木氏が作成したとされるファイル（「赤木ファイル」）
 - ア 民事訴訟終了後においては「赤木ファイル」を国会に提出することの確認
 - イ 「赤木ファイル」の改ざんを行わないことの確認

海江田万里君（立民）

我が国の所得格差と税制

- ア 税制の所得再分配機能が低下しているのではないかとの意見に対する菅内閣総理大臣の見解
- イ 金融所得に対する分離課税・比例税率の適用により所得が1億円を超えると所得税負担率が下がることに対する菅内閣総理大臣の見解

階猛君（立民）

- （1） 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に成功した自治体への地方創生臨時交付金の追加配分等により自治体独自の需要喚起の取組を国が支援すべきとの意見に対する菅内閣総理大臣の見解
- （2） 「赤木ファイル」を早急に国会に提出するよう菅内閣総理大臣から財務省に指示すべきとの要求に対する菅内閣総理大臣の見解
- （3） 国家公務員の志願者の減少及び中途退職者の増加
 - ア 志願者の減少及び中途退職者の増加の要因に関する菅内閣総理大臣の認識
 - イ 退職を検討している国家公務員へ向けた菅内閣総理大臣のメッセージ
 - ウ 公務員は全体の奉仕者であり一部の奉仕者ではない旨を定めた憲法第15条第2項を遵守した公務員を評価することの確認

清水忠史君（共産）

新型コロナウイルス感染症対策

- ア 医療体制の整備及び医療機関等への支援に関する菅内閣総理大臣の認識
- イ 赤字の医療機関に向けた支援策に関する菅内閣総理大臣の見解
- ウ 損失が生じた医療機関への損失補填に関する政府の検討状況
- エ コロナ禍により医療機関や開業医が減収や赤字になった場合、それは自己責任ではないことの確認

青山雅幸君（維新）

新型コロナウイルス感染症対策

- ア 病床の増加に向けた菅内閣総理大臣の取組
- イ 出生数や婚姻数の減少対策という観点からの同感染症対策見直しに関する菅内閣総理大臣の見解

前原誠司君（国民）

- (1) 我が国の国際競争力が低下しているという危機感を菅内閣総理大臣が抱いているか否かの確認
- (2) 我が国の財政状況及び国際競争力向上に向けた教育の重要性を踏まえた教育国債の検討の必要性に対する菅内閣総理大臣の見解

2 財政運営に必要な財源の確保を図るための公債の発行の特例に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第4号）

- ・ 質疑を終局しました。
- ・ 櫻井周君（立民）、清水忠史君（共産）、青山雅幸君（維新）、前原誠司君（国民）が討論を行いました。
- ・ 採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成—自民、公明、田野瀬太道君（無） 反対—立民、共産、維新、国民）
- ・ 神田憲次君外3名（自民、立民、公明、国民）から提出された附帯決議案について、櫻井周君（立民）から趣旨説明を聴取しました。
- ・ 採決を行った結果、賛成多数をもってこれを付することに決しました。
（賛成—自民、立民、公明、共産、国民、田野瀬太道君（無） 反対—維新）